

# 「子ども平和会議」参加報告



8月4日(日)、広島県立総合体育館にて、ピースアクションinヒロシマ・ナガサキ連携企画「子ども平和会議」が開催されました。コープながのは、未来の担い手である子どもたちに、平和について学び、考える機会にしてほしいとの願いを込め、この「子ども平和会議」に組合員から公募したお子さん2人を代表として派遣しました。

子どもたちは事前学習として自分たちの地域の戦争の歴史を学び、会議に臨みました。会議では、学習成果を共有し、「戦争や核兵器の使用など、争いごとをなくすために私たちができること」をテーマに話し合いを行いました。そこで出された意見をもとに、会議で議長を務めた広島・長崎の高校生たちが、平和への思いを「アピール文」としてまとめ、ピースアクションinナガサキの企画「虹のひろば」で発表しました。

8月31日(土)に実施したコープながのでの報告会では、子ども平和会議に参加した伊藤穂高さん(小6)、菊池希美さん(小5)が、今回の体験について丸山理事長に報告しました。その様子をご紹介します。

## 伊藤穂高さん

会議で他県の子と話して、戦争の時、広島・長崎に原爆が落とされただけでなく、日本各地で空襲があったこと、長野空襲でも47人が亡くなったことを知りました。

戦争や、原爆で、大人だけでなく子どもたちもたくさん犠牲になりました。子どもたちの未来を奪った原爆は、二度と世界各国に落とさないでほしいです。皆が笑顔で暮らせる世界にしたいです。



## 菊池希美さん

会議では、グループのみんなと「戦争について知ってもらうことで、戦争は良くないとみんなが知ることができ、争いごとがなくなるのでは」と話し合いました。

今、世界には、広島に使われたものよりもっと大きい核兵器があると知り、とても怖いと感じました。核兵器は使わないでほしい、そして、世界が平和になってほしいです。そのために、勉強したことをいろんな人に伝えたいと思いました。



## ピースアクション inヒロシマ・ナガサキについて

被爆体験の継承や、核兵器のない世界への思いを共有する場として、広島県生協連・長崎県生協連と日本生協連が共催し、毎年開催しています。特設サイトでは、企画の一部をオンライン視聴できます。子どもたちの平和への思いをまとめたアピール文の全文は、ナガサキ虹のひろばLIVE配信(アーカイブ)からご覧ください。



8/8虹のひろば・アピール文発表



特設サイトはこちら

## 2人の発表を聞いて丸山理事長

今回、2人は広島へ行き、たくさんを感じたと  
思います。

体験したことを振り返り、まとめるのは大変ですが、とても大切なことです。今、日本に生きていると、戦争は昔のこと、遠くのことと感ずるかもしれません。しかし、ひとたび戦争が起きてしまえば、生きたいと願う罪のない子どもたちの命がたくさん奪われてしまいます。今の子どもたちにも、そのことを知る機会があってほしいと思います。2人が一生懸命にまとめた今日の発表を、学校の皆にも見て欲しいです。コープながのはこれからも子どもたちが平和について学ぶ機会をつくっていきます。

